

危険、スピード落として

白石厚別建協 秋の街頭啓発に参加



白石厚別建設協会は28日、北白石連合町内会が北13条北郷通で実施した大型街頭啓発に参加した。各町内会や団体など総勢は250人により、行き交う車両のドライバ

法被や蛍光色のジャケツトを着て沿道に並んだ。安全運転を呼び掛けた。同連合町内会は、日没の時間が早まり運転環

境が変わるこの時期に、毎年活動を展開している。

参加者は、午前10時から白石区北郷3条3丁目などの沿道に並び「危険スピード落とそう」と書かれた黄色い旗を掲げて事故防止をアピール。その後、札幌白石警察署交通課の稲津隆明企画係長による交通安全講話を聞き、夜間に反射板を付ける重要性などを学んだ。

白石厚別建協は地域貢献として街頭啓発に力を入れ、24日には厚別区役所前の南郷通沿いで、26日には白石区の12号線沿いで行われた街頭啓発にも加わった。今回は20社から25人が参加した。

同建協の武藤征一会長は「高齢者が被害に遭うケースも増えている。油断と隙をなくし、安全運転を心掛けてほしい」と話している。